

空知信用金庫・第157回地域企業景気動向調査

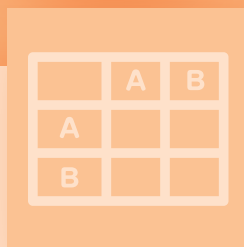
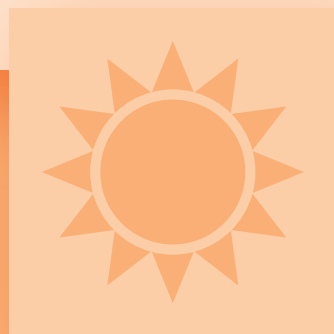
# 景況レポート

## 2025.10

このレポートは、空知信用金庫が岩見沢・美唄・三笠・栗山・由仁・長沼・南幌・江別に所在の地元企業のご協力により、令和7年7月～9月の景気の現状と令和7年10月～12月の見通しを調査したものです。

令和7年10月末日

空知信用金庫・地域支援部  
岩見沢市3条西6丁目2番地1  
電話(0126)22-1171



# 第157回 地域企業景気動向調査要項

## 1. 調査地域

若見沢市・美唄市・三笠市・江別市・栗山町・長沼町・南幌町・由仁町

## 2. 調査対象期間

令和7年7月～令和7年9月期（実績） 令和7年10月～令和7年12月期（予想）  
令和7年9月1日～9月5日に実施

## 3. 調査の方法

面接・聞き取りによる調査

標本（調査対象企業）の抽出法としては、標本の業種・規模等の基本属性が、母集団（当金庫融資取引先）の属性に見合う基準にもとづく、有意抽出法によるもの。

## 4. 業況判断指数

D・I値による判断

**D・Iとは？** Diffusion Index（ディフュージョン・インデックス）の略  
企業の業況判断等を指数化したものであり、景気動向の方向性を示したものの。  
D・Iが高ければ好景気、低ければ不景気であると判断できます。

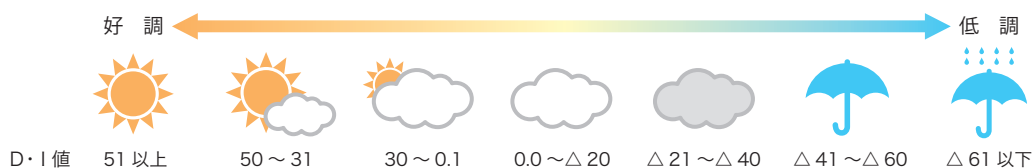
**D・I値 = 「増加・やや増加・上昇の割合」 - 「減少・やや減少・下降の割合」**

## 5. 調査対象企業数・有効回答数の内訳

区分	調査対象企業	有効回答数	有効回答率(%)
製造業	24	23	96
卸売業	16	15	94
小売業	57	55	96
サービス業	32	30	94
建設業	43	43	100
不動産業	7	7	100
運輸業	17	17	100
農業	28	28	100
計	224	218	97

## 6. 天気図の見方

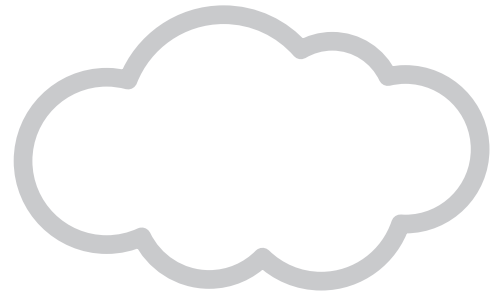
景気指標を総合的に判断して作成



## 7. 特別調査

「不透明感が増す経済社会情勢と中小企業経営について」

# 総 合



## 概 況

### コスト高継続、景況感は頭打ち。来期改善見通し

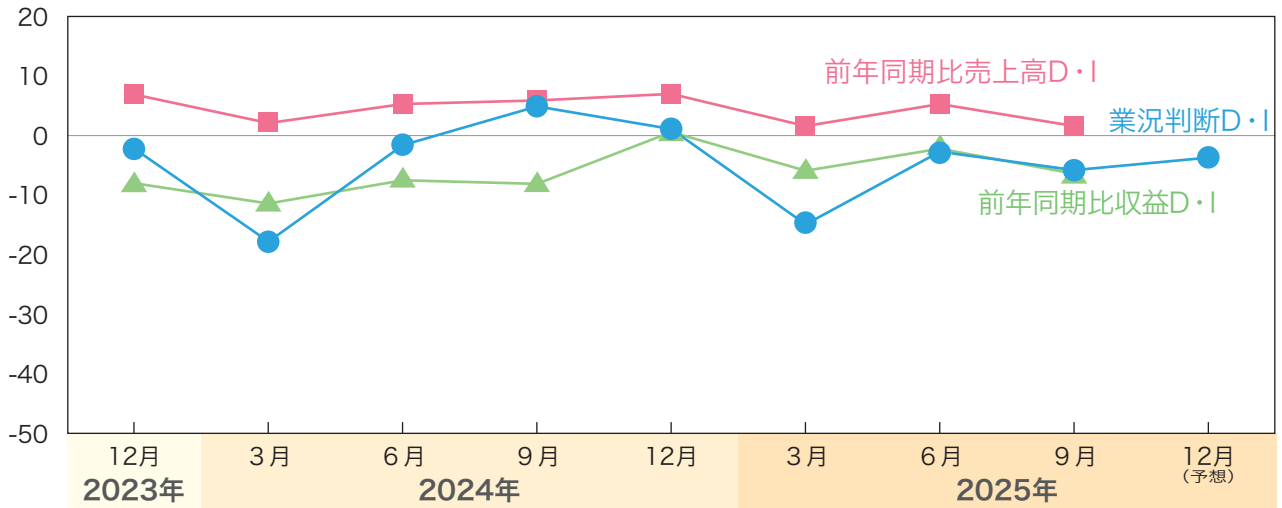
今期の業況判断指数(D・I値)は、△5.8と前期(4月～6月)より3.1ポイント下降しました。業種別に見ますと製造業で上昇。建設・不動産業で横這いのほか、5業種はいずれも下降しました。売上高D・I値は1.6と前期比3.7ポイント下降し、小売業で上昇、製造業で横這い、他の6業種で下降しました。収益D・I値は△6.4と前期比4.2ポイント悪化し、小売業、建設業で上昇、製造業、不動産業で横這い、他の4業種はいずれも下降しました。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	4.9	△2.7	△5.8	△3.7
売上高D・I	5.9	5.3	1.6	—
収益D・I	△8.1	△2.2	△6.4	—

### 来期の見通しについて

来期の予想業況判断指数(D・I値)は△3.7で、今期より2.1ポイントの上昇が見込まれます。業種別では、卸売業、小売業、サービス業、建設業で上昇、他の4業種では下降を見込んでいます。主要指標は前年同期比でコストの高止まりから下降傾向にありますが、政府の物価高対策や年末に向かい消費拡大の期待感が来期見通しの数字に反映されたものと思われます。

### 主要指標の推移



### 前期比D・Iの推移

#### ○販売価格D・I

	前年同期	前 期	今 期	見通し
製 造	8.7	4.4	8.7	8.7
卸 売	38.5	38.5	53.8	30.8
小 売	27.8	18.2	18.2	25.5
サービス	26.7	21.4	20.0	26.7
建 設	30.2	41.9	18.6	16.3
不動産	0.0	—	—	—
運 輸	35.3	35.3	41.2	35.3
農 業	40.7	50.0	46.4	39.3

※サービス業は料金価格、建設業は請負価格、運輸業は料金単価、農業は販売単価。

#### ○仕入価格D・I

	前年同期	前 期	今 期	見通し
製 造	65.2	34.8	26.1	21.7
卸 売	38.5	38.5	61.5	46.2
小 売	38.8	21.8	23.7	23.7
サービス	46.7	32.1	30.0	43.3
建 設	48.8	55.8	46.5	32.6
不動産	28.6	14.3	14.3	14.3
運 輸	35.3	23.5	41.2	52.9
農 業	48.1	75.0	42.9	28.5

※製造業は原材料価格、サービス業・建設業は材料価格、運輸業は燃料価格、農業は生産資材等価格。

○人手過不足D・I

	前年同期	前 期	今 期	見通し
製 造	△30.4	△26.1	△26.1	△26.1
卸 売	△30.8	△23.1	△15.4	△7.7
小 売	△22.2	△21.8	△21.8	△23.6
サービス	△33.4	△39.3	△30.0	△30.0
建 設	△34.9	△37.2	△32.6	△32.6
不動産	△14.3	△14.3	△14.3	△14.3
運 輸	△52.9	△47.1	△52.9	△52.9
農 業	—	—	—	—

○残業時間D・I

	前年同期	前 期	今 期	見通し
製 造	4.3	△4.3	△4.3	△13.1
卸 売	△7.7	—	7.7	△7.7
小 売	△1.9	3.7	1.8	3.7
サービス	6.7	3.6	△3.4	△6.7
建 設	△7.0	△6.9	△2.4	0.0
不動産	—	—	—	—
運 輸	△11.7	△5.9	—	—
農 業	—	—	—	—

○借入金の動き・難易度

(%)

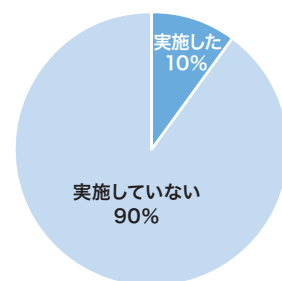
	借入金の実施	借入金の予定	民間金融機関からの借入難易度			
	し た	あ る	容 易	変わらない	難 しい	該 当 な し
製 造	13.0	4.3	8.7	82.6	8.7	—
卸 売	7.7	15.4	—	100.0	—	—
小 売	16.4	10.9	3.6	72.7	7.3	16.4
サービス	6.7	10.0	6.7	80.0	3.3	10.0
建 設	16.3	11.6	16.3	69.8	7.0	6.9
不動産	—	—	—	100.0	—	—
運 輸	17.6	11.8	5.9	76.5	11.8	5.8

○設備投資の動き

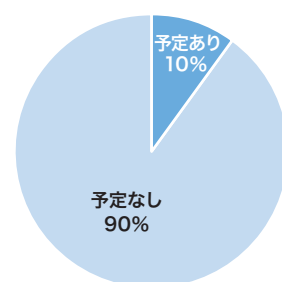
(%)

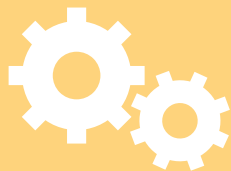
	前年同期	前 期	今 期	実施予定
製 造	17.4	8.7	8.7	—
卸 売	7.7	—	—	—
小 売	7.4	12.7	9.1	10.9
サービス	23.3	7.1	13.3	13.3
建 設	16.3	7.0	14.0	11.6
不動産	—	—	—	—
運 輸	17.6	17.6	5.9	17.6
農 業	3.7	3.6	7.1	—

2025年7月~9月期  
設 備 投 資

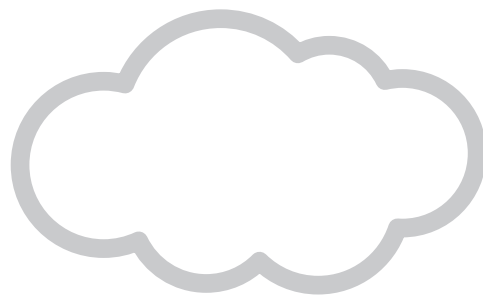


今後3ヶ月以内  
設 備 投 資 計 画





# 製造業



## 概況

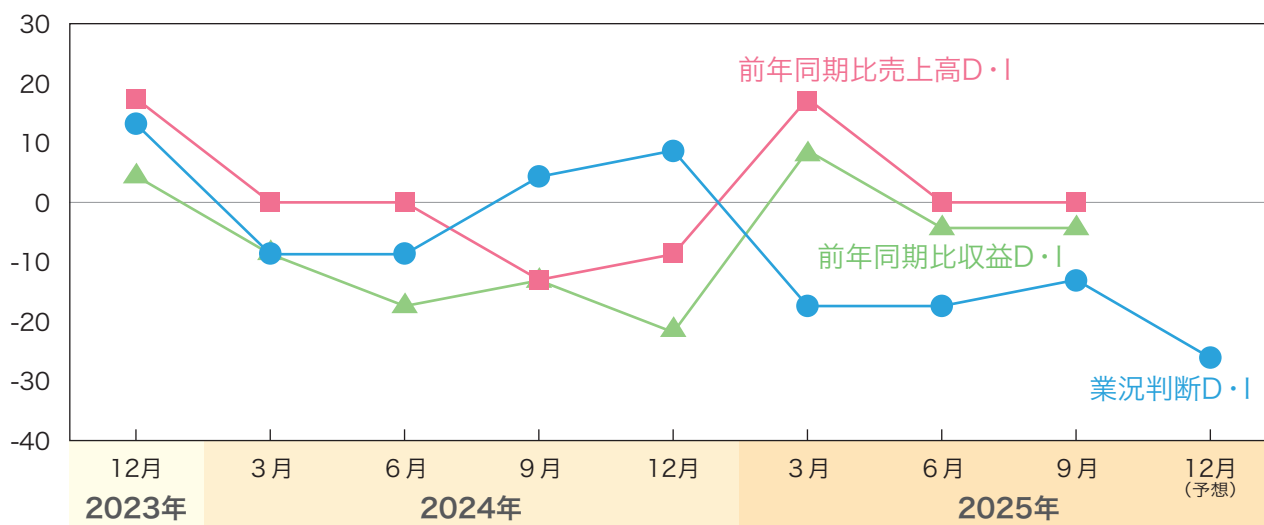
今期の業況判断指数（D・I値）は、△13.0と前期（4月～6月）から若干回復したものの3期連続マイナス圏内の業況でした。業種別で土石製品製造業、一般機械器具製造業で大幅に回復しましたが、出版・印刷・同関連産業で大幅下降となりました。売上高D・I値は0.0ポイントと前期比横這い、収益D・I値も△4.3ポイントと前期比横這いとなりました。原材料費の高騰が収益を圧迫する状況が続いています。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	4.3	△17.4	△13.0	△26.1
売上高D・I	△13.0	0.0	0.0	—
収益D・I	△13.1	△4.3	△4.3	—

## 来期の見通しについて

土石製品製造業で好伸する見込みですが、出版・印刷・同関連産業で前期に続き下降予想、一般機械器具製造業においても一転下降予想となっています。その他の業種では現状維持見通しとなっていますが、全体では、大幅下降予想となっています。

## 主要指標の推移



## 今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

- ・為替（円安）の影響による仕入価格の上昇分をどう価格転嫁できるかが課題。
- ・後継者問題を含めた事業承継が中々進んでいかない。
- ・元請け先のコストカットの対象先となり、収益維持に苦戦している。

## 経営上の問題点トップ3

	前年同期	今 期
第1位	原材料高 47.8%	原材料高 39.1%
第2位	売上の停滞・減少 39.1%	売上の停滞・減少 人手不足 (同率) 30.4%
第3位	人手不足 30.4%	工場・機械の老朽化 人件費増加 (同率) 17.4%

(複数回答)

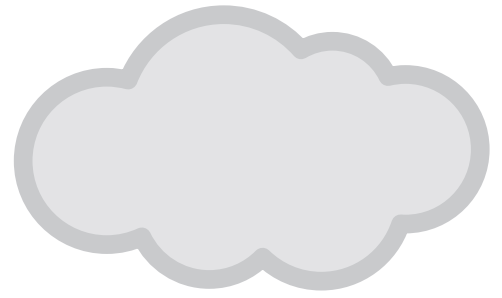
## 当面の重点経営施策トップ3

	前年同期	今 期
第1位	販路を広げる 52.2%	販路を広げる 52.2%
第2位	経費を節減する 47.8%	人材を確保する 26.1%
第3位	人材を確保する 30.4%	経費節減 情報力の強化 (同率) 17.4%

(複数回答)



# 卸売業



## 概況

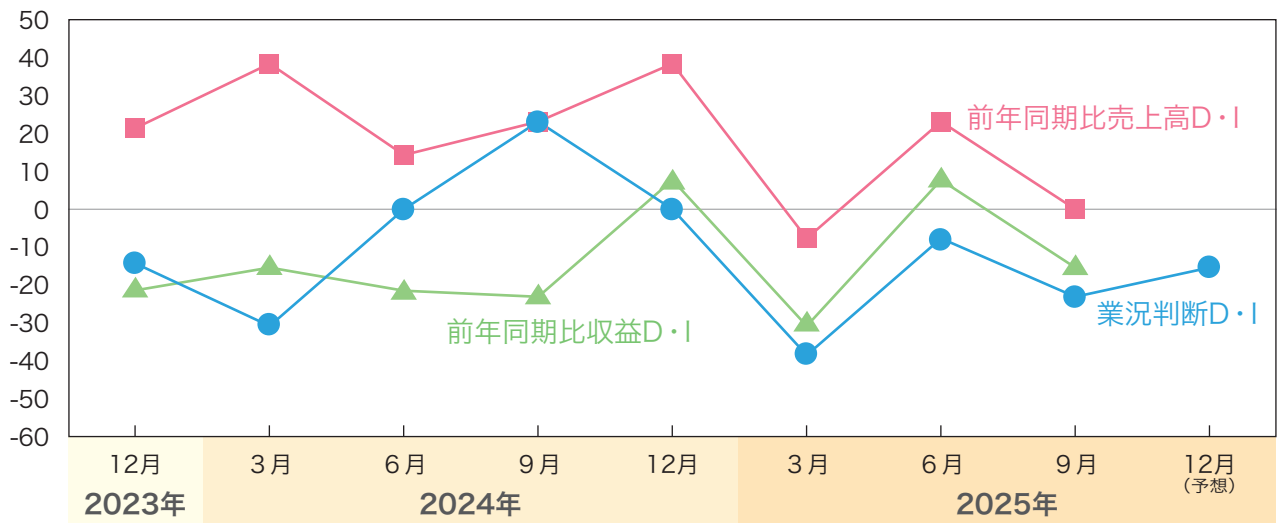
今期の業況判断指数(D・I値)は、△23.1と前期(4月～6月)に比べ15.4ポイント下降となり前年同期比でも大幅下降となっています。業種別では、農畜産物・水産物、機械器具卸売業で横這いを維持したものの食料・飲料、建築材料、その他の卸売業で下降となりました。売上高D・I値は0.0ポイントと前期比△23.1ポイント、収益D・I値も△15.4ポイントと前期比23.1ポイント下降しました。仕入れ価格上昇を価格転嫁しきれず収益性が低迷しています。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	23.1	△7.7	△23.1	△15.4
売上高D・I	23.1	23.1	0.0	—
収益D・I	△23.1	7.7	△15.4	—

## 来期の見通しについて

食料・飲料卸売業で年末に向けての期待感から上昇を見込んでいるものの、農畜産物・水産物卸売業で下降の見通しのほか機械器具、建築材料、他の各卸売業で現状維持を見込んでいます。業界全体では、改善傾向ながらマイナス圏で推移する見通しとなっています。

## 主要指標の推移



## 今回の調査企業先からのコメント(聞き取りを含む)の一部

- ・売上増加が課題であり、今後ビジネスマッチングを積極的に活用していく方針。
- ・他社商品との差別化が必要であり、自社ブランドの確立に取組む。

## 経営上の問題点トップ3

	前年同期	今 期
第1位	利幅の縮小 46.2%	売上の停滞・減少 38.5%
第2位	売上の停滞・減少 30.8%	人手不足 同業者間の競争の激化(同率) 30.8%
第3位	取引先の減少 人件費の増加(同率) 23.1%	天候の不順 利幅の縮小(同率) 23.1%

(複数回答)

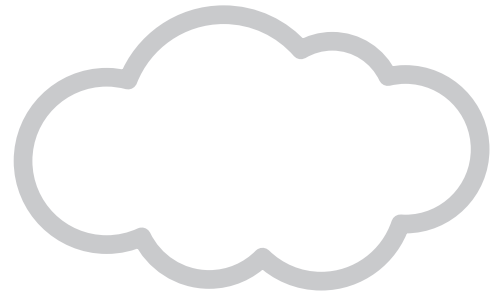
## 当面の重点経営施策トップ3

	前年同期	今 期
第1位	経費を削減する 販路を広げる(同率) 61.5%	販路を広げる 76.9%
第2位	人材を確保する 38.5%	経費を節減する 69.2%
第3位	流通経路の見直し 23.1%	人材を確保する 30.8%

(複数回答)



# 小売業



## 概況

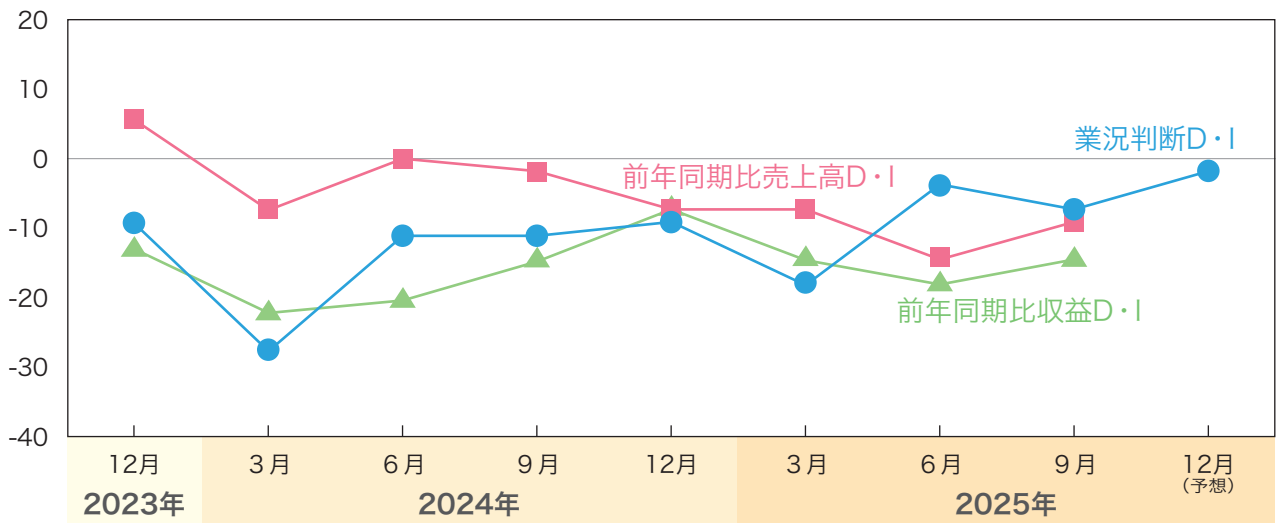
今期の業況判断指数(D・I値)は△7.3で前期(4月～6月)に比べ3.6ポイント下降となり依然マイナス圏での推移となりました。家庭用機械・電気機械器具及び書籍・文房具小売業で改善が見られたものの、燃料、飲食店、自動車・自転車、家具・建具、その他の小売業で下降。その他の業種は現状維持となっています。売上高D・I値は△9.1ポイントと前期比5.4ポイント、収益D・I値も△14.5と前期比3.6ポイントそれぞれ改善したものの、総体の経営指標は悪化しており、厳しい状況が続きました。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	△11.1	△3.7	△7.3	△1.8
売上高D・I	△1.8	△14.5	△9.1	—
収益D・I	△14.8	△18.1	△14.5	—

## 来期の見通しについて

季節要因はあるものの、燃料、家具・建具小売業で上昇見込みですが、その他の小売業では横這いの見通しで、小売業全体では改善傾向ながらマイナス圏で推移する見通しです。

## 主要指標の推移



## 今回の調査企業先からのコメント(聞き取りを含む)の一部

- ・各業種とも接客にかかる人員が絶対的に不足しており、その確保が喫緊の課題。
- ・代表者の高齢化、後継者不在による事業承継に課題。
- ・外国人観光客の来店が増加。コミュニケーション力の向上が今後の課題。
- ・商圏人口の減少に伴い売上減少。売上の確保、収益維持への対応必要。

## 経営上の問題点トップ3

	前年同期	今 期
第1位	商圏人口の減少 48.1%	商圏人口の減少 売上の停滞・減少(同率) 41.8%
第2位	大型店との競争激化 25.9%	人手不足 18.2%
第3位	売上の停滞・減少 24.1%	大型店との競争激化 16.4%

(複数回答)

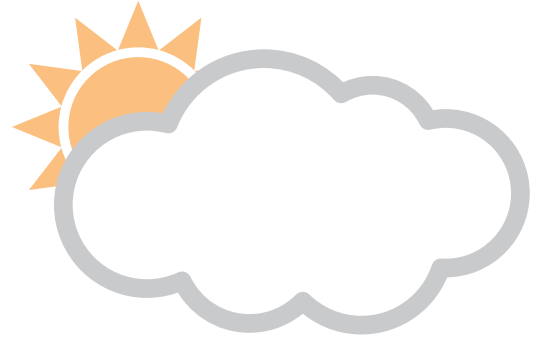
## 当面の重点経営施策トップ3

	前年同期	今 期
第1位	経費を節減する 44.4%	経費を節減する 54.5%
第2位	商店街事業を活性化させる 27.8%	商店街事業を活性化させる 25.5%
第3位	品揃えを改善する 24.1%	人材を確保する 21.8%

(複数回答)



# サービス業



## 概況

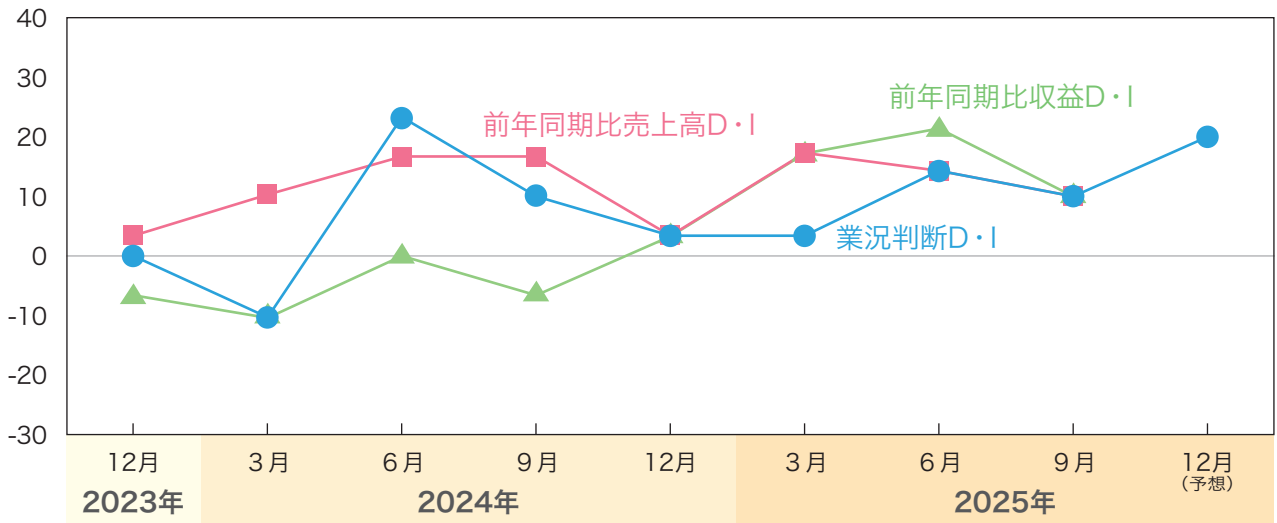
今期の業況判断指数(D・I値)は、10.0と前期(4月～6月)に比べ4.3ポイント下降となったものの、6期連続でプラス圏内を維持しました。業種別ではその他のサービス業で上昇となったほか物品質貸業では下降しましたが、そのほかの業種では横這いを維持しました。売上高D・I値は10.0ポイントと前期比4.3ポイント下降、収益D・I値においても10.0ポイントと前期比11.4ポイントの下降となりました。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	10.0	14.3	10.0	20.0
売上高D・I	16.7	14.3	10.0	—
収益D・I	△6.6	21.4	10.0	—

## 来期の見通しについて

自動車整備および駐車場業で上昇見込みのほか、その他サービス業で横這いながら好調を維持、他の業種においても横這い見込みから業界全体では、今期実績より上昇する見通しとなっています。

## 主要指標の推移



## 今回の調査企業先からのコメント(聞き取りを含む)の一部

- ・技術職が高齢化及び新規採用困難もあり慢性的に人手不足の状況。
- ・原材料価格の高騰による影響が大きく、価格転嫁による収益確保に課題。
- ・老朽化による設備更新を検討するも、不透明な景況感から慎重対応。

## 経営上の問題点トップ3

	前年同期	今 期
第1位	商圏人口の減少 33.3%	人手不足 売上の停滞・減少(同率) 43.3%
第2位	材料価格の上昇 人件費の増加 人手不足(同率) 26.7%	人件費の増加 26.7%
第3位	売上の停滞・減少 23.3%	材料価格の上昇 同業者間の競争の激化(同率) 20.0%

(複数回答)

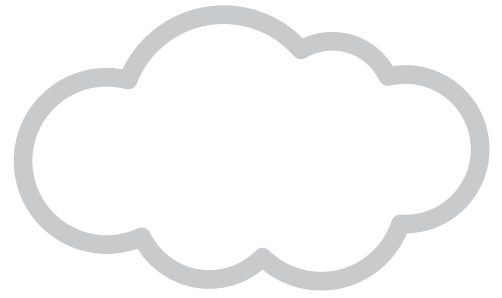
## 当面の重点経営施策トップ3

	前年同期	今 期
第1位	経費を節減する 56.7%	経費を節減する 56.7%
第2位	販路を広げる 46.7%	人材を確保する 販路を広げる(同率) 40.0%
第3位	人材を確保する 33.3%	技術力を強化する 23.3%

(複数回答)



# 建設業



## 概況

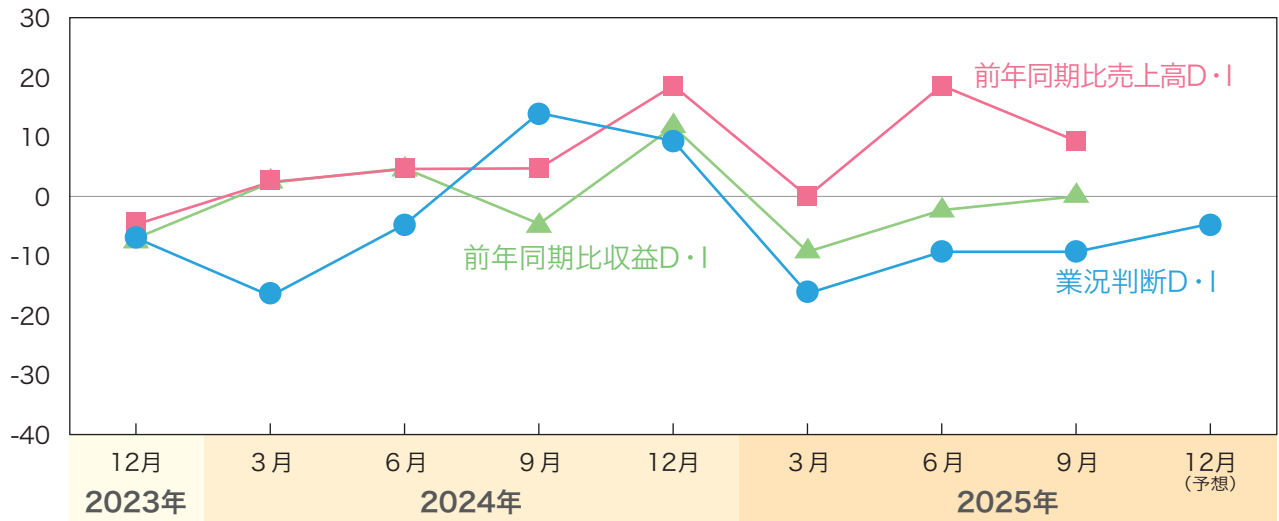
今期の業況判断指数（D・I値）は、△9.3と前期（4月～6月）と横這いに推移し依然として厳しい状況が窺えます。業種別では識別工事業、設備工事業のいずれも横這いで推移しました。売上高D・I値は9.3ポイントと前期比9.3ポイント下降し、収益D・I値は0.0ポイントと前期比2.3ポイント改善。材料価格や燃料価格の高騰が継続する中、バラツキはあるものの価格転嫁がなされているものと推測します。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	14.0	△9.3	△9.3	△4.6
売上高D・I	4.7	18.6	9.3	—
収益D・I	△4.6	△2.3	0.0	—

## 来期の見通しについて

総合工事業で上昇の見込みで、識別工事業で若干の下降見通しとなっています。全体では改善傾向にはあるものの、依然としてマイナス圏内での推移見通しとなっています。

## 主要指標の推移



## 今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

- ・資材高騰の影響は避けられず、大きく減益の見込み。価格転嫁に課題。
- ・公共工事主体の受注から業況は安定している。
- ・資材高騰・金利上昇から新築、リフォームともに需要低迷。受注減、継続見込み。

## 経営上の問題点トップ3

	前年同期		今 期	
第1位	材料価格の上昇	60.5%	材料価格の上昇	65.1%
第2位	人手不足	46.5%	人手不足	34.9%
第3位	売上の停滞・減少	25.6%	売上の停滞・減少	25.6%

(複数回答)

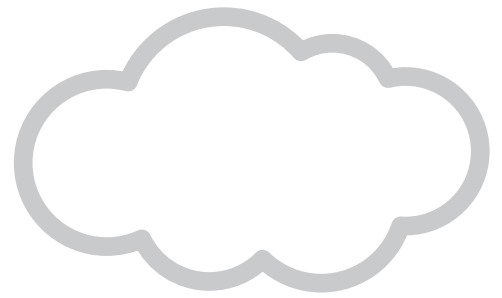
## 当面の重点経営施策トップ3

	前年同期		今 期	
第1位	人材を確保する	60.5%	経費を節減する	53.5%
第2位	経費を節減する	46.5%	人材を確保する	44.2%
第3位	販路を広げる	41.9%	販路を広げる	41.9%

(複数回答)



# 不動産業



## 概況

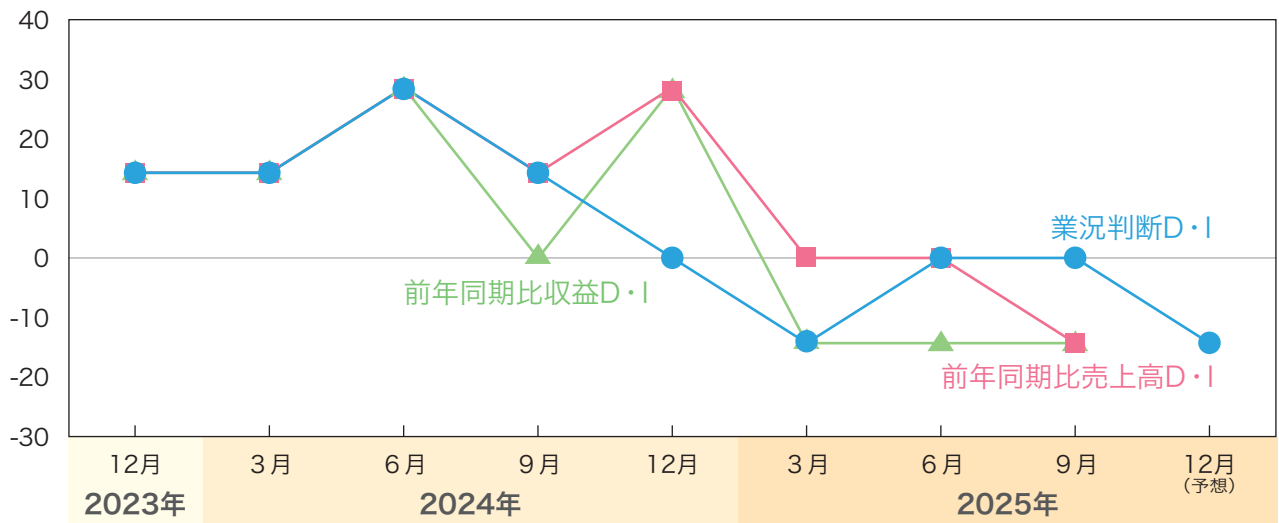
今期の業況判断指数(D・I値)は、0.0と前期(4月～6月)と横這いに推移しました。業種別では不動産代理業・仲介業で若干上昇し、他の業種では横這いでした。売上高D・I値は△14.3ポイントと前期比下降、収益D・I値については△14.3ポイントと前期と横這いとなりました。金利上昇懸念、建築資材の高騰による物件の需要低迷によるものと推察されます。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	14.3	0.0	0.0	△14.3
売上高D・I	14.3	0.0	△14.3	—
収益D・I	—	△14.3	△14.3	—

## 来期の見通しについて

不動産代理・仲介業で下降見通しとなっており、その他の業種では現状を維持する見通し。業界全体では大幅下降の見通しとなっております。

## 主要指標の推移



## 今回の調査企業先からのコメント(聞き取りを含む)の一部

- ・ 建築資材高騰し、金利上昇局面にあって、物件利回りが低下。
- ・ 土地の優良物件確保が困難。
- ・ 入居率の改善、家賃引上げに課題。

## 経営上の問題点トップ3

	前年同期	今 期
第1位	商品物件の高騰 人件費以外の経費の増加(同率) 42.9%	商品物件の縮小 42.9%
第2位	商品物件の縮小 人手不足 28.6%	商品物件の高騰 売上の停滞・減少 28.6%
第3位	同業者間の競争の激化(同率)	同業者間の競争の激化(同率)

(複数回答)

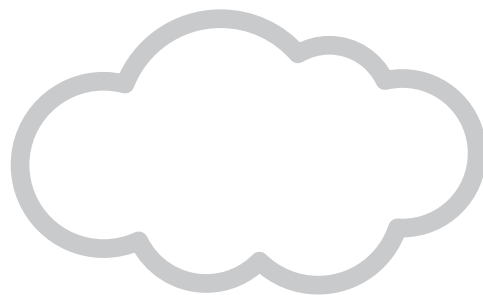
## 当面の重点経営施策トップ3

	前年同期	今 期
第1位	経費を節減する 71.4%	経費を節減する 71.4%
第2位	宣伝・広告を強化する 42.9%	宣伝・広告を強化する 57.1%
第3位	情報力を強化する 販路を広げる(同率) 28.6%	販路を広げる 42.9%

(複数回答)



# 運輸業



## 概況

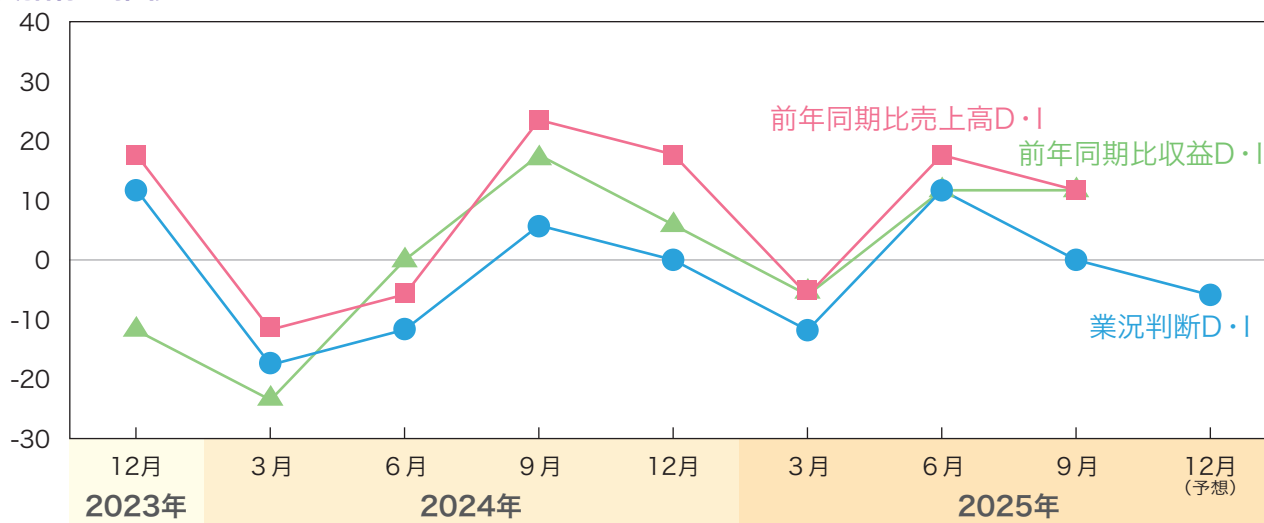
今期の業況判断指数(D・I値)は、0.0と前期(4月～6月)に比べ11.7ポイント下降しました。業種別では貨物自動車運輸業・通運業で若干上昇となりました。一方、ハイヤー・タクシー等旅客自動車業で下降となりその他の運輸・通信業で横這いとなっています。売上高D・I値は11.7ポイントと前期比5.9ポイント下降となり、収益D・I値は△17.6ポイントと前期比29.3ポイント下降しました。

	前年同期	前期	今期	見通し
業況D・I	5.8	11.7	0.0	△5.9
売上高D・I	23.5	17.6	11.7	—
収益D・I	17.6	11.7	△17.6	—

## 来期の見通しについて

貨物自動車運輸業・通運業で下降見通しのほか、その他業種では横這いの見通しとなっております。業界全体では今期実績より悪化しマイナス圏での推移見通しとなっております。

## 主要指標の推移



## 今回の調査企業先からのコメント(聞き取りを含む)の一部

- ・ドライバー不足は恒常的。高齢化も進み、先行き不透明な状況当面継続。
- ・燃料価格の上昇、ドライバー確保に伴う人件費の増加から収益力低下。

## 経営上の問題点トップ3

	前年同期		今期	
第1位	燃料価格の上昇	82.4%	人手不足 燃料価格の上昇(同率)	58.8%
第2位	人手不足	64.7%	売上の停滞・減少 人件費の増加(同率)	23.5%
第3位	売上の停滞・減少	35.3%	同業者間の競争の激化	17.6%

(複数回答)

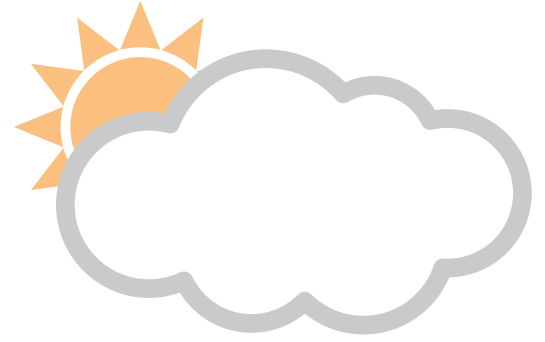
## 当面の重点経営施策トップ3

	前年同期		今期	
第1位	経費を節減する	70.6%	経費を節減する	76.5%
第2位	人材を確保する 販路を広げる(同率)	52.9%	販路を広げる	41.2%
第3位	労働条件を改善する	23.5%	人材を確保する	35.3%

(複数回答)



# 農業



## 概況

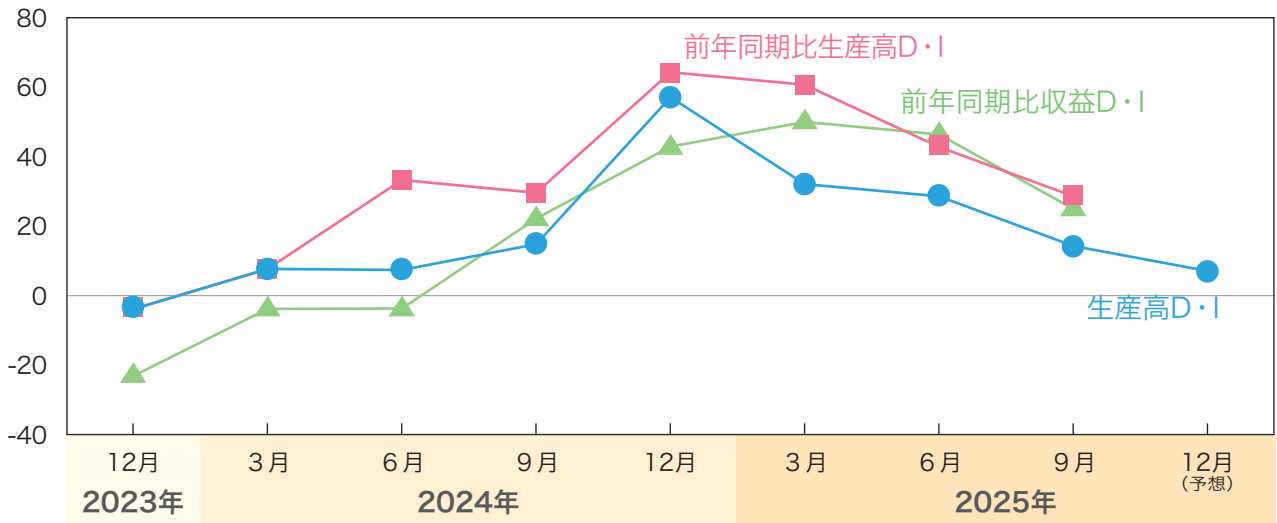
今期の生産高判断指数（D・I値）は、14.3と前期（4月～6月）に比べ14.3ポイント下降、収益D・I値についても25.0と前期比21.4ポイント下降しました。猛暑の影響による青果物の収量減が、生産高および収益の下降要因とみられます。前年同期比における生産高D・Iおよび収益D・Iについては、ほぼ横這いでの推移となっています。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
生産高D・I	14.8	28.6	14.3	7.1
前年同期比生産高D・I	29.6	42.8	28.6	—
収益D・I	22.2	46.4	25.0	—

## 来期の見通しについて

青果物等は収量減により大幅減収。米は例年より早い収穫となりましたが、8月時点の1等米は67%と低調なスタート。全体的に猛暑の影響を受け、来期の生産高D・Iは下降を予想しています。ただし、猛暑の影響を大きく受けたのは極早生品種であり、他の品種への影響は些少なものと想定され、米の単価は昨年以上に上昇する可能性があることから、米生産者には明るい見通しとなっています。

## 主要指標の推移



## 今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

- ・米価上昇により業況は良好に推移している。
- ・天候の影響から馬鈴薯の生産量が減少。
- ・ふるさと納税用の出荷がますます順調に推移している。

## 経営上の問題点トップ3

	前年同期		今 期	
第1位	経費の増加	55.6%	経費の増加 機械・設備の値上がり (同率)	39.3%
第2位	生産資材等価格の上昇	48.1%	労賃・人件費の増加 機械・設備の老朽化 (同率)	21.4%
第3位	機械・設備の値上がり	37.0%	人手不足	17.9%

(複数回答)

# 特別調査

## 不透明感が増す経済社会情勢と 中小企業経営

当金庫が今回実施致しました第157回中小企業景気動向調査と併せて（運輸業と農業を除く）171先について「不透明感が増す経済社会情勢と中小企業経営」についてアンケート調査した結果です。

問1. トランプ大統領就任後、米国の経済社会政策（関税等）には不透明感が増しています。こうした動きを受けて、貴社の売上にこれまで影響がありましたか。次の1～5の中から1つ選んでお答えください。また、今後の売上に影響があると予想しますか。次の6～0の中から1つ選んでお答えください。

		これまでの売上		今後の売上				
		1 大いに悪影響があった		6 大いに悪影響があると予想する				
		2 多少の悪影響があった		7 多少の悪影響があると予想する				
		3 特に影響がなかった		8 特に影響がないと予想する				
		4 むしろ良い影響があった		9 むしろ良い影響があると予想する				
		5 わからない		0 わからない				
これまでの売上	1 大いに悪影響があった	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	2 多少の悪影響があった	13.0%	0.0%	9.1%	26.7%	7.0%	14.3%	11.7%
	3 特に影響がなかった	87.0%	100.0%	81.8%	73.3%	86.0%	85.7%	83.6%
	4 むしろ良い影響があった	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	5 わからない	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%	7.0%	0.0%	4.7%
	合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
今後の売上	6 大いに悪影響があると予想する	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	7 多少の悪影響があると予想する	17.4%	0.0%	27.3%	30.0%	18.6%	0.0%	21.1%
	8 特に影響がないと予想する	82.6%	92.3%	54.5%	63.3%	65.1%	71.4%	66.1%
	9 むしろ良い影響があると予想する	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	0 わからない	0.0%	7.7%	18.2%	6.7%	16.3%	28.6%	12.9%
	合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

トランプ大統領就任後、米国の関税等の経済社会政策による売上への影響について、全体で「特に影響がなかった」と回答した先が83.6%と最も高く、次いで「多少の悪影響があった」11.7%、「わからない」4.7%という結果となりました。選択項目別では最も回答が多かった「特に影響がなかった」について、全業種とも回答割合で上位を占めたほか、「多少の悪影響があった」についてはサービス業、不動産業、製造業の順となりました。また、「大いに悪影響があった」・「むしろ良い影響があった」については回答した先がありませんでした。

今後の売上への影響については、「特に影響がないと予想する」が66.1%と最も高く、次いで「多少の悪影響があると予想する」21.1%、「わからない」12.9%となりました。

問2. 中国経済の減速が懸念されていますが、貴社に対して間接的な事象も含めてどのような影響が見込まれますか。あてはまるものを次の1～0の中から3つ以内で選んでお答えください。

		製造業		卸売業		小売業		サービス業		建設業		不動産業		総計	
		1 中国企業や個人向け売上の減少		6 売掛金回収リスクの増大											
		2 中国と取引のある元請け企業からの受注減少		7 為替変動による収益の悪化											
		3 中国からの輸入コストの上昇		8 中国人労働者の増加											
		4 中国製品との価格競争の激化		9 その他( )											
		5 原材料・部品・商品等の調達難		0 特に影響を見込んでいない											
為替	1 中国企業や個人向け売上の減少	4.3%	0.0%	5.5%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%						
	2 中国と取引のある元請け企業からの受注減少	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	1.2%							
	3 中国からの輸入コストの上昇	4.3%	0.0%	5.5%	10.0%	4.7%	0.0%	5.3%							
	4 中国製品との価格競争の激化	0.0%	7.7%	7.3%	0.0%	7.0%	0.0%	4.7%							
	5 原材料・部品・商品等の調達難	17.4%	7.7%	18.2%	23.3%	20.9%	14.3%	18.7%							
	6 売掛金回収リスクの増大	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%							
	7 為替変動による収益の悪化	0.0%	15.4%	0.0%	0.0%	2.3%	0.0%	1.8%							
	8 中国人労働者の増加	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.3%	0.0%	2.3%							
	9 その他( )	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%							
	0 特に影響を見込んでいない	69.6%	84.6%	67.3%	73.3%	67.4%	85.7%	70.8%							

(複数回答)

中国経済の減速懸念による直接・間接的事象による影響について、全体では「特に影響を見込んでいない」と回答した先が70.8%で最も高く、対中国との希薄な関係性が浮き彫りとなりました。一方で影響が見込まれる選択項目別では、「原材料・部品・商品等の調達難」が18.7%と最も高く、「中国からの輸入コストの上昇」5.3%、「中国製品との価格競争の激化」4.7%、その他項目合計8.2%となっています。

また、影響が見込まれると回答した先を業種別に見ますと、小売業が32.7%と最も高く、建設業32.6%、製造業30.4%と続き、不動産業では14.3%と最も低い結果となりました。

問3. 今後の外国為替相場（主に円ドル相場）の貴社にとって望ましい水準について、次の1～5の中から1つ選んでお答えください。また、コロナ禍以降の物価上昇傾向が貴社の経営にもたらす影響について、次の6～0の中から1つ選んでお答えください。

		為替		物価上昇				
		1 現状より円高傾向が望ましい		6 良い影響をもたらしている				
		2 現状程度が望ましい		7 どちらともいえない				
		3 現状より円安傾向が望ましい		8 悪い影響をもたらしている				
		4 自社には関係ない		9 自社には関係ない				
		5 わからない		0 わからない				
為替	1 現状より円高傾向が望ましい	30.4%	15.4%	12.7%	3.3%	9.3%	0.0%	12.3%
	2 現状程度が望ましい	34.8%	53.8%	21.8%	30.0%	44.2%	57.1%	34.5%
	3 現状より円安傾向が望ましい	0.0%	7.7%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%
	4 自社には関係ない	21.7%	0.0%	30.9%	43.3%	20.9%	28.6%	26.9%
	5 わからない	13.0%	23.1%	32.7%	23.3%	25.6%	14.3%	25.1%
	合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
物価上昇	6 良い影響をもたらしている	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%
	7 どちらともいえない	43.5%	46.2%	30.9%	36.7%	30.2%	42.9%	35.1%
	8 悪い影響をもたらしている	43.5%	38.5%	32.7%	26.7%	51.2%	28.6%	38.0%
	9 自社には関係ない	4.3%	0.0%	12.7%	20.0%	9.3%	28.6%	11.7%
	0 わからない	4.3%	15.4%	23.6%	16.7%	9.3%	0.0%	14.6%
	合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

今後の外国為替相場（主に円ドル相場）の望ましい水準について、全体では「現状程度が望ましい」と回答した先が、34.5%と最も高く、次いで「自社には関係ない」26.9%、「わからない」25.1%、「現状より円高傾向が望ましい」12.3%、「現状より円安傾向が望ましい」1.2%と続き、

コロナ禍以降の物価上昇傾向が経営にもたらす影響については、「悪い影響をもたらしている」が38.0%と最も高かった反面、「どちらともいえない」・「自社には関係ない」・「わからない」と回答した先が61.4%を占め、依然不透明な状況が続いているものと推察されます。

問4. 不透明感が増す経済社会情勢を受けて、経営面で今後見直したい取組みはありますか。次の1～0の中から3つ以内で選んでお答えください。

- |               |            |
|---------------|------------|
| 1 事業の多角化      | 6 従業員教育の強化 |
| 2 新規顧客の開拓     | 7 資金繰りの見直し |
| 3 既存顧客との関係強化  | 8 コスト削減    |
| 4 新商品・サービスの開発 | 9 その他( )   |
| 5 デジタル化の推進    | 0 特にない     |

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総計
1 事業の多角化	8.7%	15.4%	10.9%	0.0%	4.7%	14.3%	7.6%
2 新規顧客の開拓	17.4%	15.4%	18.2%	40.0%	25.6%	14.3%	23.4%
3 既存顧客との関係強化	21.7%	30.8%	29.1%	36.7%	27.9%	14.3%	28.7%
4 新商品・サービスの開発	26.1%	7.7%	7.3%	0.0%	0.0%	0.0%	6.4%
5 デジタル化の推進	4.3%	7.7%	5.5%	0.0%	4.7%	0.0%	4.1%
6 従業員教育の強化	26.1%	15.4%	10.9%	3.3%	20.9%	0.0%	14.0%
7 資金繰りの見直し	26.1%	15.4%	20.0%	26.7%	30.2%	57.1%	25.7%
8 コスト削減	17.4%	46.2%	27.3%	33.3%	32.6%	28.6%	29.8%
9 その他( )	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
0 特にない	4.3%	7.7%	18.2%	20.0%	4.7%	0.0%	11.7%

(複数回答)

経済社会情勢の不透明感が継続する中、経営面での見直しの取組みについては、全体では「コスト削減」が29.8%と最も高く、次いで「既存顧客との関係強化」28.7%、「資金繰りの見直し」25.7%、「新規顧客の開拓」23.4%と続きました。中でも、売上げ増加に対する見直し策(項目1～4)を選択した先は66.1%、資金面での見直し策(項目7・8)を選択した先は55.5%という結果となりました。

問5. 不透明感が増す経済社会情勢を受けて、地域金融機関の体制面で望むことについて、次の1～0の中から3つ以内で選んでお答えください。

- |                    |                           |
|--------------------|---------------------------|
| 1 担当者の訪問回数の増加      | 6 インターネットバンキング等の非対面チャネル充実 |
| 2 担当者訪問時の滞在時間の延長   | 7 金融機関の本部専担者・外部専門家による支援   |
| 3 担当者交代時の丁寧な引継ぎ    | 8 要望に対する迅速な対応             |
| 4 担当者の頻繁な人事異動がないこと | 9 その他( )                  |
| 5 支店窓口での相談機能の強化    | 0 特に期待していない               |

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総計
1 担当者の訪問回数の増加	4.3%	0.0%	1.8%	16.7%	4.7%	14.3%	5.8%
2 担当者訪問時の滞在時間の延長	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%
3 担当者交代時の丁寧な引継ぎ	17.4%	7.7%	9.1%	23.3%	14.0%	28.6%	14.6%
4 担当者の頻繁な人事異動がないこと	8.7%	46.2%	20.0%	30.0%	41.9%	42.9%	28.7%
5 支店窓口での相談機能の強化	13.0%	15.4%	18.2%	23.3%	7.0%	14.3%	15.2%
6 インターネットバンキング等の非対面チャネル充実	8.7%	0.0%	12.7%	3.3%	7.0%	14.3%	8.2%
7 金融機関の本部専担者・外部専門家による支援	34.8%	30.8%	20.0%	20.0%	27.9%	0.0%	24.0%
8 要望に対する迅速な対応	60.9%	23.1%	34.5%	20.0%	30.2%	0.0%	32.2%
9 その他( )	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	2.3%	0.0%	1.2%
0 特に期待していない	4.3%	7.7%	20.0%	20.0%	9.3%	28.6%	14.6%

(複数回答)

経済社会情勢の不透明感が継続する中、地域金融機関への体制面で望むことについては、全体では「要望に対する迅速な対応」が32.2%と最も高く、次いで「担当者の頻繁な人事異動がないこと」28.7%、「金融機関の本部専担者・外部専門家による支援」24.0%、「支店窓口での相談機能の強化」15.2%、「担当者交代時の丁寧な引継ぎ」14.6%と続きました。相談しやすい金融機関であること、金融機関職員とのコミュニケーションを重視していることが推察できます。

# 主要経済指標

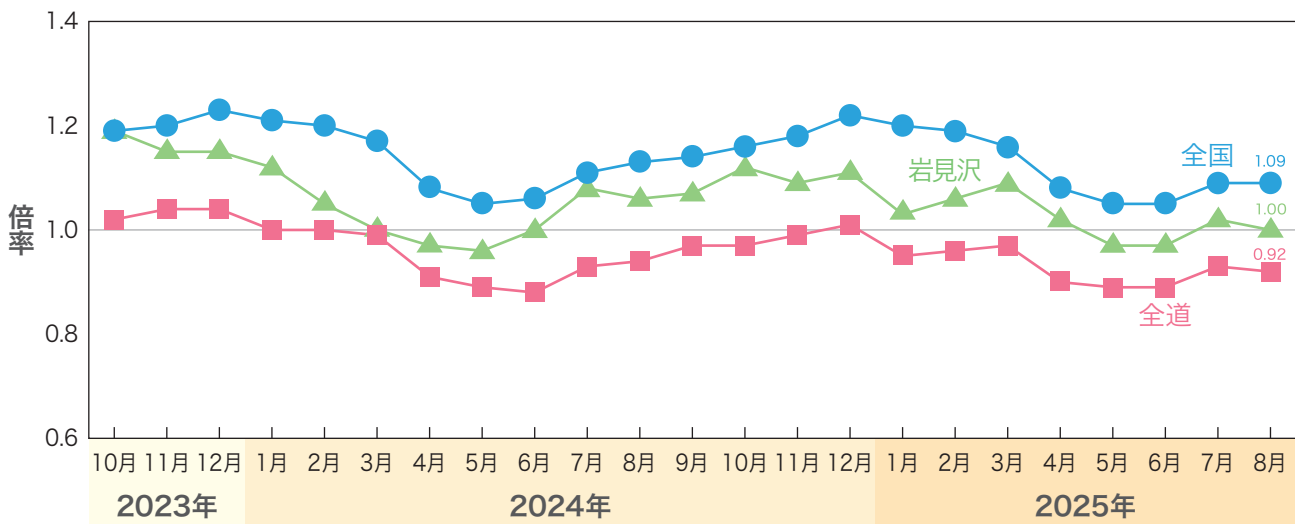
## 1. 空知管内・江別の人口動向

(人)

	2024年				2025年							
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
岩見沢市	74,532	74,440	74,357	74,238	74,095	73,984	73,565	73,510	73,431	73,317	73,238	73,171
美瑛市	18,594	18,534	18,489	18,434	18,387	18,341	18,233	18,211	18,175	18,144	18,117	18,075
三笠市	7,333	7,314	7,281	7,270	7,245	7,195	7,168	7,183	7,146	7,120	7,099	7,087
栗山町	10,691	10,692	10,674	10,653	10,638	10,630	10,580	10,571	10,571	10,564	10,535	10,534
南幌町	7,919	7,929	7,933	7,933	7,951	7,972	8,036	8,066	8,059	8,076	8,105	8,125
由仁町	4,554	4,540	4,527	4,528	4,515	4,506	4,490	4,490	4,480	4,472	4,473	4,470
長沼町	9,993	9,983	9,958	9,939	9,905	9,881	9,838	9,848	9,832	9,832	9,838	9,822
江別市	118,100	118,116	118,112	118,060	117,936	117,844	117,517	117,801	117,801	117,841	117,849	117,835

(資料：空知総合振興局)

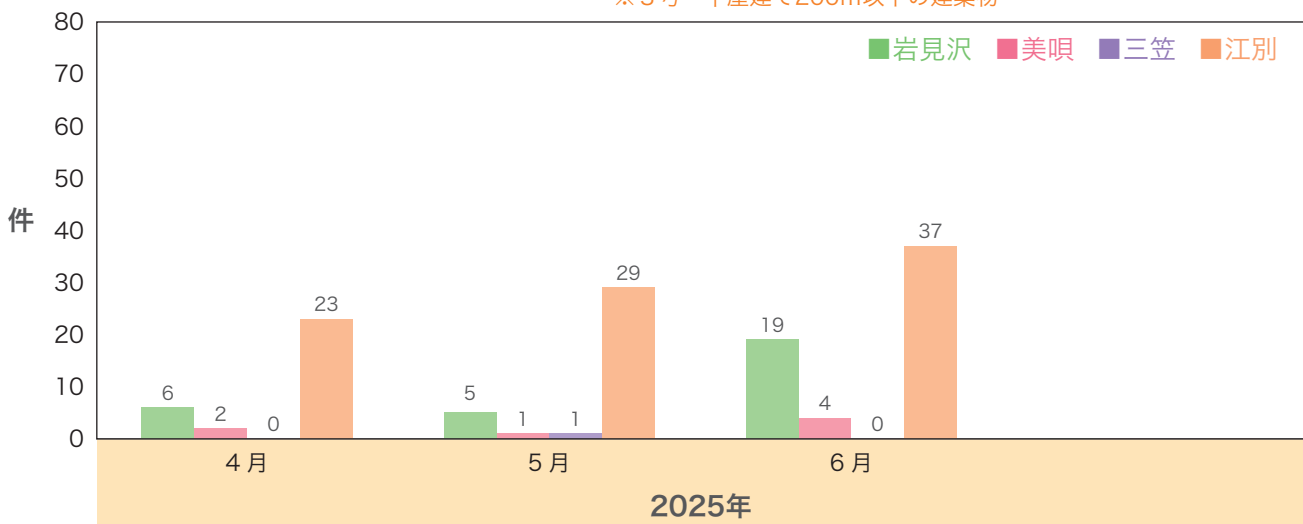
## 2. 岩見沢管内の有効求人倍率



(資料：北海道労働局)

## 3. 建築確認申請数 (2号・3号)

※ 2号…2階建て以上の建築物または、平屋建て200㎡超の建築物  
 ※ 3号…平屋建て200㎡以下の建築物

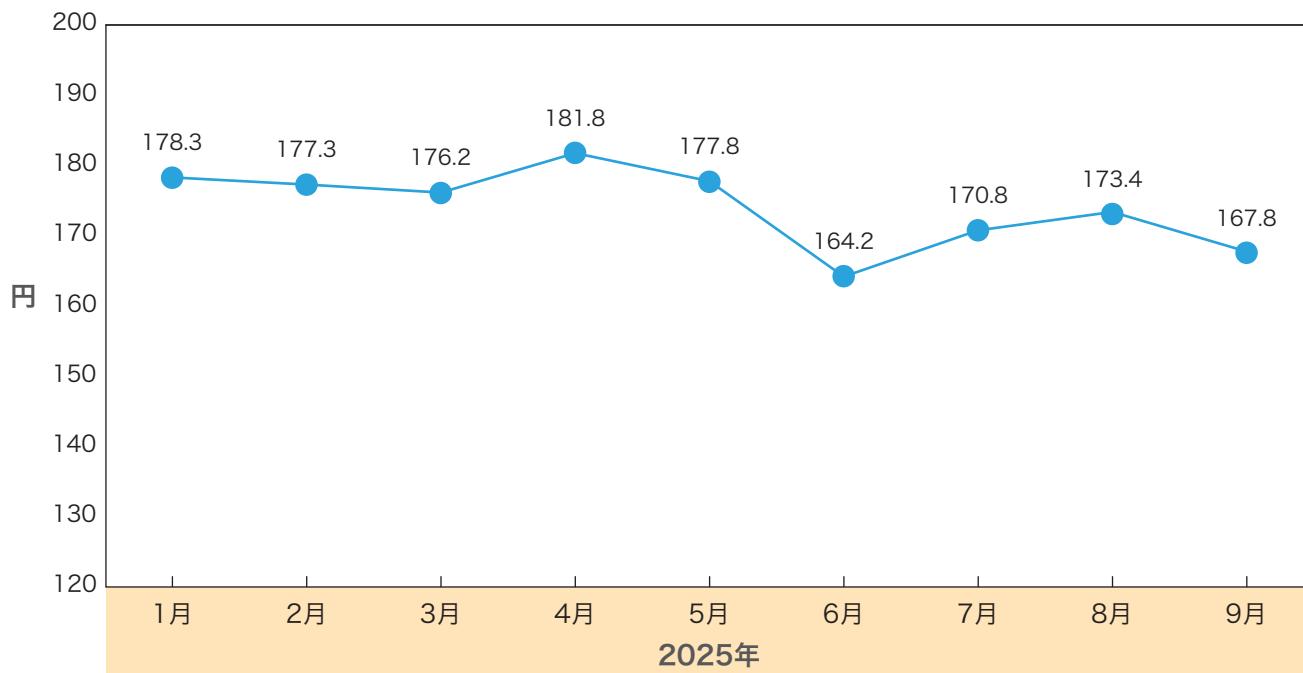


(資料：北海道建設部住宅局)

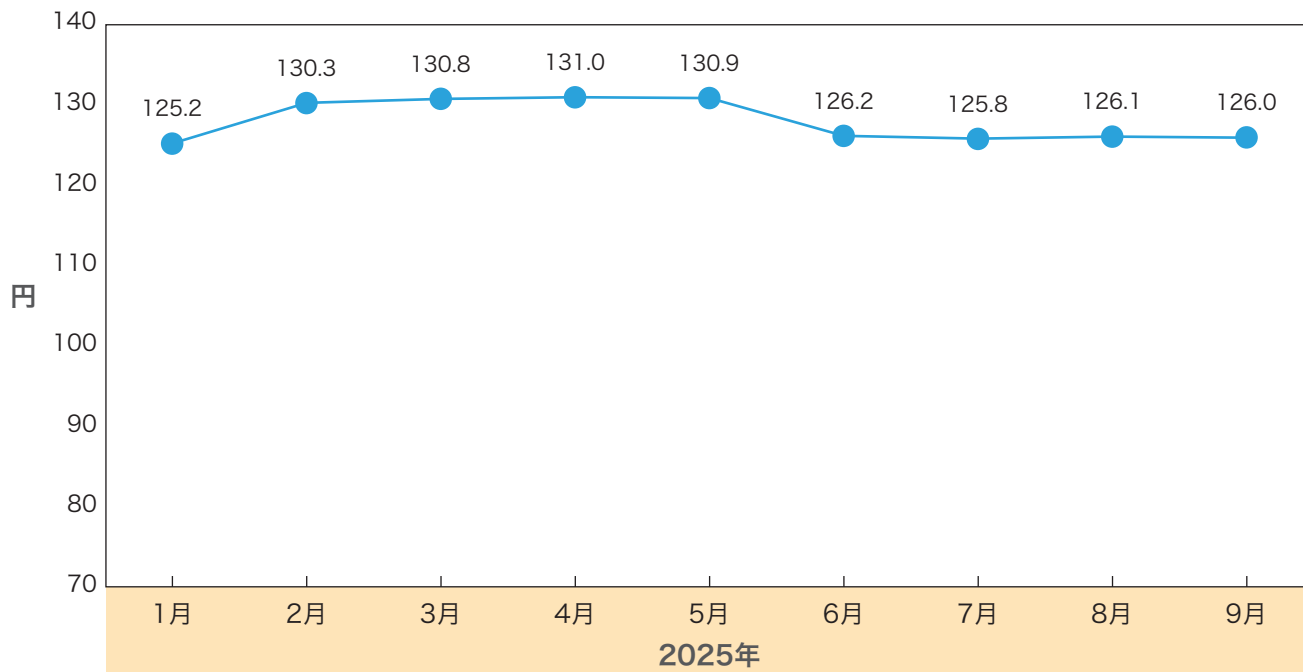
#### 4. 管内のガソリン価格・灯油価格

(岩見沢市・三笠市・江別市・栗山町の平均を算出したもの)

##### ① ガソリン



##### ② 灯油



(資料：北海道消費者協会)

# ビジネスマッチングコーナー

このコーナーでは、空知信用金庫のお取引先企業様をご紹介します。皆様の販路拡大やビジネスの連携をサポートする「誌上ビジネスマッチング」の場として、お役立てください。お問い合わせは、直接掲載企業もしくは、当金庫 地域支援部までご連絡ください。

## (株)北清

取引店：江別支店

北竜町で長年にわたり稲作、メロン栽培を中心に営農してきた株式会社北清が、昨年8月、約1年間の準備期間を経て、札幌近郊の江別市にいちご農園を開設しました。「宝石のように美しく、驚くほどおいしい幻のいちご」それが私たちが栽培しているいちご「よつぼし」です。甘味・酸味・風味が揃って「よつぼし」級に「美味しい」とされ、「このいちごを食べたらほかのいちごを食べる気にならない」とのお声が寄せられるほど、高い評価をいただいています。そのまま食べるいちごのほか、北竜町のメロンも合わせて、2次加工品としてゼリー、いちごソースなども製造しており、いくつかは江別市のふるさと納税返礼品にも採用されています。来期以降はいちご狩りも計画しており、一人でも多くのお客様へ美味しいいちごをお届けできるよう、スタッフ一同一生懸命頑張っています。



本 社 〒078-2503 雨竜郡北竜町字碧水22番1  
江別農場 〒067-0022 江別市江別太684-115  
担当者：井上 勝之 様  
Tel 090-8705-9318  
Hp [https://www.instagram.com/nodo\\_strawberryfarm\\_](https://www.instagram.com/nodo_strawberryfarm_)  
E-mail [kitase.northdragon20240801@gmail.com](mailto:kitase.northdragon20240801@gmail.com)

## 空知信用金庫の社会的取組み

空知信用金庫では、地域のお客様を直接サポートする機能強化を図るため、平成29年4月、地域支援室を立ち上げ、令和3年3月より地域支援部となりました。

地域支援部では、以下のような事業や取組みを行っております。

### 空知信用金庫杯 学童野球大会の開催 (令和7年7月20日)

野球を愛好する多くの子供たちに競技の機会を設け、スポーツを通じて健康で明朗な心身の推進・育成を図ることを目的とし、7月20日岩見沢市内にて開催されました。南空知管内のチームに参加いただき、白熱した試合が繰り広げられました。



そらちしんきん

## 通帳アプリ定期預金

来店不要！アプリ完結♪  
スマホでいつでも  
定期預金を作れます！

スーパー定期の店頭表示金利に

年 **0.10%** 上乗せ！  
(税引前)

ご利用いただける方	「しんきん通帳アプリ」(以下、「通帳アプリ」といいます。)を契約した個人、個人事業主の方。
期 間	1～5年(1年単位) 自動継続(元利金継続または元金継続)
預 入 方 法	しんきん通帳アプリにおける「定期性預金取引」を通じて行います。
預 入 金 額	1万円以上 1,000万円未満(1円単位) 1,000万円以上となる場合は複数契約となります。
払 戻 方 法	通帳アプリの「定期性預金取引」機能で解約方法を指定いただくことで、連携済みの普通預金口座へ入金します。
適 用 金 利	預入時におけるスーパー定期預金の店頭表示金利に 0.10%(税引前)を上乗せした金利を約定利率とし、適用します。初回の満期到来後も店頭表示金利に上乗せして自動継続します。
中途解約時のお取り扱	定期預金を満期日前に解約する場合は、預入期間に応じた金庫所定の中途解約利率を適用します。ただし、中途解約利率が解約日の普通預金利率を下回る場合は、解約日の普通預金利率を適用します。
そ の 他	本商品は、「定期預金満期のお知らせ」のご案内をいたしませんので、あらかじめご了承ください。(通帳アプリで契約内容をご確認ください。) 詳しくは店頭またはホームページの商品概要説明書をご覧ください



詳しくは窓口までお問い合わせください



空知信用金庫

<https://www.shinkin.co.jp/sorachi/>



地域情報は  
LINEで



令和7年7月7日現在

LINEでそらちしんきんと友だちになろう！

様々な情報をLINEでお届け！



# 店舗・ATMのご案内

## 店 舗

				ATMご利用時間	
				●平日	●土曜日 ●土・日・祝日
岩見沢市内店	本 店	〒068-8660	岩見沢市3条西6丁目2番地1	TEL 0126-22-1150	8:45~19:00 9:00~17:00
	鉄北支店	〒068-0042	岩見沢市北2条西11丁目1番3号	TEL 0126-24-6233	9:00~18:00 -
	日の出支店	〒068-0824	岩見沢市日の出北4丁目2番17号	TEL 0126-25-4555	9:00~18:00 -
	美園支店	〒068-0814	岩見沢市美園4条5丁目1番10号	TEL 0126-24-6363	9:00~18:00 -
	幌向支店	〒069-0371	岩見沢市幌向南1条2丁目112番地1	TEL 0126-26-2021	9:00~18:00 9:00~17:00
南空知管内	栗沢支店	〒068-0127	岩見沢市栗沢町本町55番地1	TEL 0126-45-2324	9:00~18:00 9:00~17:00
	美唄支店	〒072-0023	美唄市大通西1条南1丁目3番6号	TEL 0126-62-7511	9:00~18:00 9:00~17:00
	三笠支店	〒068-2153	三笠市幸町12番地7	TEL 01267-2-2383	9:00~18:00 9:00~17:00
	栗山支店	〒069-1511	夕張郡栗山町中央3丁目3番地	TEL 0123-72-0208	9:00~18:00 9:00~17:00
	由仁支店	〒069-1297	夕張郡由仁町本町148番地	TEL 0123-83-2011	9:00~18:00 -
札幌市・江別市内	長沼支店	〒069-1332	夕張郡長沼町中央南1丁目1番12号	TEL 0123-88-2131	9:00~18:00 -
	南幌支店	〒069-0237	空知郡南幌町栄町1丁目3番1号	TEL 011-378-2311	9:00~18:00 9:00~17:00
	札幌支店	〒060-0001	札幌市中央区北1条西6丁目2番地	TEL 011-271-3421	9:00~18:00 -
	(事務所)千歳法人オフィス	〒066-0062	千歳市千代田町7丁目1789-3 千歳ステーションプラザ4階	TEL 0123-29-6850	- -
	札幌北支店	〒001-0024	札幌市北区北24条西6丁目1番5号	TEL 011-757-3435	9:00~18:00 -
	琴似支店	〒063-0812	札幌市西区琴似2条3丁目1番12号	TEL 011-644-4422	9:00~18:00 -
	白石支店	〒003-0026	札幌市白石区本通5丁目南4番36号	TEL 011-862-7766	9:00~18:00 -
	平岸支店	〒062-0932	札幌市豊平区平岸2条9丁目2番11号	TEL 011-831-8555	9:00~18:00 -
	厚別支店	〒004-0065	札幌市厚別区厚別西5条2丁目1番27号	TEL 011-895-2111	9:00~18:00 -
	札幌西支店	〒063-0061	札幌市西区西町北20丁目3番10号	TEL 011-666-8111	9:00~18:00 -
札幌東支店	〒065-0019	札幌市東区北19条東16丁目1番8号	TEL 011-783-3611	9:00~18:00 -	
江別支店	〒067-0074	江別市高砂町8番地3	TEL 011-383-1011	9:00~18:00 9:00~17:00	

## 店舗外ATMコーナー

				ご利用時間	
				●平日	●土・日・祝日
岩見沢市	ビッグハウス岩見沢店 (共同ATM)	岩見沢市大和1条9丁目	9:00~21:00	9:00~21:00	
	イオン岩見沢店	岩見沢市大和4条8丁目	9:00~19:00	9:00~17:00	
	本店春日出張所	岩見沢市春日町2丁目2番22号	9:00~17:00	-	
	一条出張所	岩見沢市1条西1丁目	9:00~17:00	-	
	であえーる岩見沢 (共同ATM)	岩見沢市3条西4丁目	9:00~19:00	9:00~18:00	
	岩見沢市役所	岩見沢市鳩が丘1丁目	9:00~17:30	-	
	岩見沢市役所 北村支所 (共同ATM)	岩見沢市北村赤川593番地の1	9:00~17:00	-	
	北海道中央労災病院	岩見沢市4条東16丁目	9:00~17:00	-	
三笠市	イオンスーパーセンター三笠店	三笠市岡山1059番地の1	9:00~19:00	9:00~17:00	



第157回地域企業景気動向調査  
**景況レポート 2025.10**  
 発行 2025年10月31日

〒068-8660 岩見沢市3条西6丁目2番地1  
 空知信用金庫 地域支援部  
 TEL 0126-22-1171  
<https://www.shinkin.co.jp/sorachi/>